

日南町SDGsのまちづくり 「J-クレジット」の御紹介



SDGsまちづくりのまち



日南町

Nichinan Town

人口 3,824人
高齢化率 55.0%
(R7.3.31時点)

少子高齢化が進行する 「日本の30年後の姿」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



中国山地のほぼ中央に位置し、町の面積(340.96km²)の約9割が森林

過疎、少子高齢化が進行する「日本の30年後の姿」の町として多くの学術機関におけるモデル地域となっています

農業・林業を基軸として、緩やかな人口減少を実現させる町民総活躍の「創造的過疎」のまちづくりへ挑戦しています

SDGs未来都市選定(2019年度)
2050年ゼロカーボンシティ宣言(2020年度)
内閣府・地方創生SDGs金融表彰(2021年度)
総務省・ふるさとづくり大賞(2021年度)
NIKKEI脱炭素アワード(2021年度)

日南町J-クレジット

温室効果ガスの排出削減または吸収量の増加につながる事業の実施

省エネ設備の導入
(燃料転換、高効率化)



ボイラーの導入 照明設備の導入

再生可能エネルギーの導入



太陽光発電設備の導入

適切な森林管理



植林・間伐等

J-クレジット創出者 (中小企業、農業者、森林所有者、地方自治体等)

日南町

CO₂の排出を
J-クレジットで相殺



J-クレジット
の売却

会計上は損金
として計上

CO₂等の排出削減・吸収量
(J-クレジット)

資金循環

目標達成、CSR活動
カーボン・オフセット

企業様

J-クレジット
地域コーディネーター
(地域金融機関等)

J-クレジット購入者 (大企業、中小企業、地方自治体等)

SBT
CDP
RE100



CDP・SBTへの活用
RE100の目標達成

温対法 省エネ法



温対法・省エネ法の報告



カーボン・オフセット

SHIFT 事業
ASSET 事業

経団連カーボンニュートラル
行動計画の目標達成



J-クレジット制度

J-クレジット制度とは、二酸化炭素(CO₂)等の排出削減や、適切な森林管理による吸収量の増を「クレジット」として国が認証する制度です。

日南町のJ-クレジット

町内のFSC森林認証を受けている森林において、間伐地を対象にクレジットを認証取得したものです。

企業は購入して何ができるのか？

カーボン・オフセットやカーボンニュートラル行動計画の目標達成のため、またCSR(企業の社会的責任)活動の一環として購入されるケースがあります。

※カーボン・オフセット:活動等において排出されたCO₂を、他者の吸収・削減量で埋め合わせて相殺すること

販売した代金を日南町はどう使う？

売上は町内の森林で行う、再生林の植樹費用などに還元され、生態系保全に活用しています。

活用事例

株式会社中海テレビ放送 様

“chukai電力”の契約1世帯につき、日南町の森林(杉の木)1本分を守るという環境貢献型の電力事業の取り組み。電力の地産地消を促進する取り組みとして地元電力会社と連携した全国モデルとなる事例。



企業様との連携

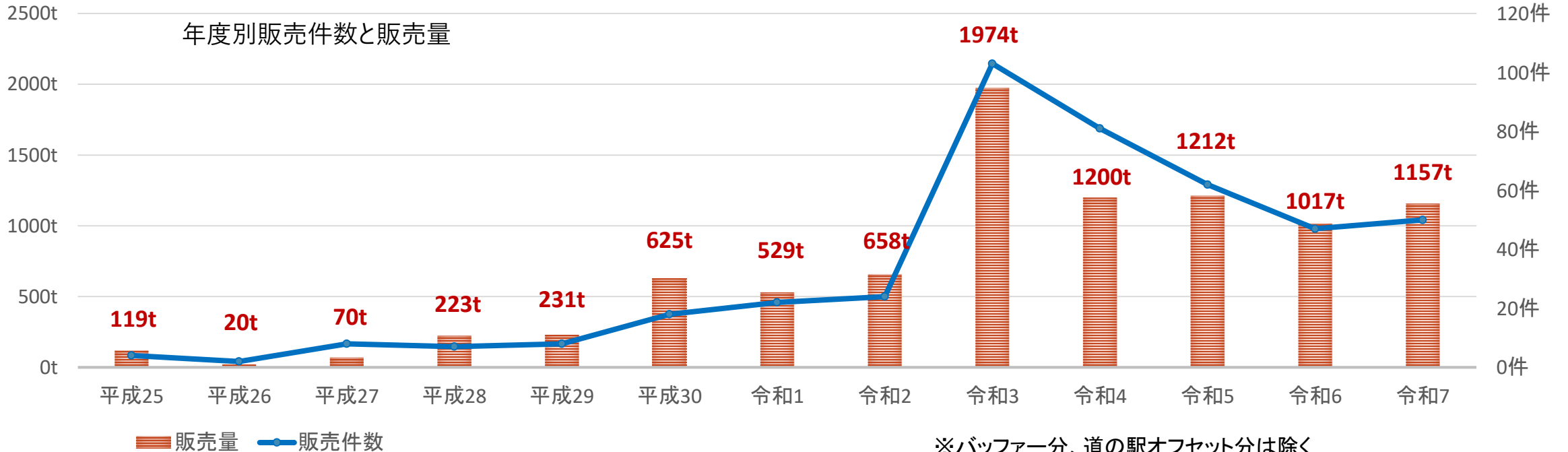
- 日南町有林を活用した、社内教育および社員・家族の「交流」、「体験」、「学びの場」としてのご活用
- J-クレジット購入に関して対外および企業内への発信により、SDGs・ESG経営への企業内での機運醸成、間接的支援
- 企業の環境貢献としてのPR、CSR活動の取り組み



日南町J-クレジット販売状況

R8.3.31時点

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	累計
販売件数	4件	2件	8件	7件	8件	18件	22件	24件	103件	81件	62件	47件	50件	434件
販売量	119t	20t	70t	223t	231t	625t	529t	658t	1,974t	1,200t	1,212t	1,017t	1,157t	9,035t
バッファ分	198t	バッファ分を除く			道の駅排出分を除く									198t
道の駅オフセット				142t	137t	179t	200t	185t	17t	18t	19t			897t
計	317t	20t	70t	365t	368t	804t	729t	843t	1,991t	1,218t	1,231t	1,017t	1,157t	10,130t



生態系の保全

日南町は鳥取県西部を流れる一級河川「日野川」の源流があり、下流域住民の水瓶として適切な森林管理により、水源涵養を育む責務があります。森林に由来する、生態系の保全も目標の一つです。



国の特別天然記念物「オオサンショウウオ」



ヒメホタルとゲンジホタルが共に生息する貴重な環境



一級河川「日野川」の源流域



適切な森林管理による災害防止、水源涵養機能の保全

林業指導者の育成

平成31年に全国で初めてとなる町立の林業アカデミーを開講。実践的な林業現場研修により技術と知恵、専門家の講義から森林・林業の知識を習得し、地域から信頼される将来の林業指導者の養成を進めています。



森林を活用した修学・教育旅行

SDGsの流れから環境教育への注目

2021年にはコロナ禍により、これまで県外や海外に修学旅行を行っていた中高生が、行動制限等もあり県内への行程となった。こうした中で、これまで修学旅行等の受け入れの実績がほとんどなかった日南町が“SDGs教育”のフィールドへ名乗りを上げ、修学旅行や教育旅行の受け入れ先として注目された。



日本海新聞
令和6年5月22日(水)

森林や水などの自然資源を生かしたまちづくりを進める日南町と江府町は、SDGs(持続可能な開発目標)をテーマにした体験型プログラムを前面に打ち出した修学旅行の誘致に本腰を入れ始めた。本年度は両町が初めて連携し、20日に大阪市内の中学生を受け入れた。両町は今後、プランの充実を図り、交流人口の増加を目指す。(高坂綾奈)



チェーンソー体験をする生徒ら=20日、江府町御機のエバーランド奥大山(日南町提供)

「林業体験は迫力があって驚いた。大阪と違って森林が多く、森を管理する方のおかげで、豊かな自然が守られているのだと実感できた。大阪市立白鷺中3年の中野志緒さん(14)は充実した笑顔で語った。同校3年生171人は20日から3泊3日の日程で来町。このうち初日は両町が企画したSDGs体験に充てた。

■自分事として
この日は江府町御機のエバーランド奥大山などに「ちなん中国山地林業アカデミー」(日南町)や「廃材を

日南、江府町連携 修学旅行にSDGs体験

日南町は、コロナ禍で都市圏への行動制限が行われていた際、「SDGs未来都市」に「つみよみ」という切り口で、旅行会社や学校に旅行プランを提案。鳥取、農根岡の中学、高校の修学旅行誘致に成功した。さらに都市部の学校に誘致を促すべく、「エコツアー」などに力を入れる。江府町に連携を呼びかけた。

同校はプランを提案したJTB大阪教育事業部の藤原さん(25)は「SDGsを体感している地域で体験ができるのが魅力。森と海とのつながり、気候変動対策への具体的な取り組みを体験できるプログラムで、学校側のニーズにも対応できると感じたい」と抱負を語った。

■ニーズに対応
日南町は、コロナ禍で都市圏への行動制限が行われていた際、「SDGs未来都市」に「つみよみ」という切り口で、旅行会社や学校に旅行プランを提案。鳥取、農根岡の中学、高校の修学旅行誘致に成功した。さらに都市部の学校に誘致を促すべく、「エコツアー」などに力を入れる。江府町に連携を呼びかけた。

同校はプランを提案したJTB大阪教育事業部の藤原さん(25)は「SDGsを体感している地域で体験ができるのが魅力。森と海とのつながり、気候変動対策への具体的な取り組みを体験できるプログラムで、学校側のニーズにも対応できると感じたい」と抱負を語った。

修学旅行でSDGs研修

国のSDGs(持続可能な開発目標)未来都市の一つで、脱炭素社会の実現を目指す鳥取県日南町が、県内高校の修学旅行の研修先として注目されている。今年6月の鳥取敬愛(鳥取市)を皮切りに、11月に倉吉東(倉吉市)の一行が森林教室や廃材活用の寄せ木細工などを体験。来年2月には鳥取商業(鳥取市)の生徒約200人が来町予定で、町は修学旅行向け研修プランの商品化を急ぐ。

(山根行雄)

注目集める日南町 森林教室、寄せ木細工



「200年の森道歩道」で、森林や林業の役割を聞く倉吉東高校の修学旅行生(鳥取県日南町阿部線(町提供))

「修学旅行生がやって来るとは、想定外だった」。2校約280人を受け入れた町農林課の荒金太郎主任は、相次ぐSDGs研修の依頼に驚く。

環境教育の高まりを背景に、修学旅行の日程に組み込まれた研修は、杉の巨木が林立する「200年の森道歩道」での森林教室や、地元産材を使った木造庁舎の見学、寄せ木細工体験なども設定され、田舎料理を作ってみわう。

たたら製鉄で栄えた旧家の裏山に整備された遊歩道では、町立林業学校「にちなん中国山地林業アカデミー」教諭の高木康平さん(37)が解説。クイズ方式で森林や林業の役割を分かりやすく説き、好評だ。

高木さんは「新型コロナウイルス禍で修学旅行が近場になった事情もあるが、今後の木育や環境教育の進め方に多くの示唆を与えられる」と手応えを話す。

修学旅行を仲介する日本旅行教育旅行部(東京都)

